



Sapporo Gakuin University

学園広報

2001. 2. 19 No.78

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
http://www.sgu.ac.jp

昨年七月の教育職員免許法の改正に伴い、高等学校の教員免許状の教員に「情報」と「福祉」が新設されました。本学では平成十三年度からスタートする社会情報学部の新カリキュラムを基に、現行の中学「社会」、高校「公民」に加えて高校「情報」の教職課程認定申請を行い、昨年十二月二十一日付けをもって認可されました。

中学「社会」、高校「公民」、「情報」の三免許が取得できるようにになります。社会情報学部の新カリキュラムは、二十一世紀を展望し、社会的・全体的視野から問題のありかをさぐる科目群と「情報・データ解析等の技

社会情報学部 高校教諭「情報」免許が認可

「社会的・全体的視野から問題のありかをさぐる科目群」と「情報・データ解析等の技



推薦条件は？ 入学定員は？ 真剣な眼差しで質問

「入試説明会」にて池田光幸教授のお話熱心に耳を傾ける受験生の皆さん

人文学部に 三つ目の学科誕生!!

この新学科は、既設の人間科学科で蓄積された教育・研究の成果をもとに臨床心理学の分野をさらに充実・発展させるもので、人文学部にとっては三つ目の学科となります。

全国的にも注目を浴びているこの新学科の教授陣は、そのほとんどが臨床心理士の資格を持っています。また、非常勤のスタッフには、道内はもとより全国からこの分野で精力的に活躍されている方々をお迎えしており、社会的注目度が高まりつつある臨床心理学として、その期待に応えるよう十分な指導態勢を整えています。

「カウセンシング」「グループワーク」「心理アセスメント」「芸術療法」「施設体験学習」と広角的に配置されており、これらの学習をおして自分という存在をつかみ、このころを病む人々と関わる専門家としての基本的態度、職業倫理を学べるようになっていきます。また、これらの実習教育の成果をより大きくするために、カンファレンス室、心理アセスメント室、集団療法室など施設の整備・充実を図りました。

人文学部臨床心理学科

設置認可 される

話能力の向上および自己表現能力の育成につとめ、感受性豊かな人材の育成を図る。と養成する人材像が謳われています。これを現実にするために用意されたカリキュラムは、このころを捉えるための基本的知識を身につけさせる(心理臨床の基礎)、事例的分野を中心とする(心理臨床の応用)、心理臨床の実際を体験させる(心理臨床の展開)、学習者個人の人間性に幅を持たせる(心理臨床の周辺)という四つの領域で構成されています。中でも(心理臨床の展開)にある実習科目は、「カウセンシング」「グループワーク」「心理アセスメント」「芸術療法」「施設体験学習」と広角的に配置されており、これらの学習をおして自分という存在をつかみ、このころを病む人々と関わる専門家としての基本的態度、職業倫理を学べるようになっていきます。また、これらの実習教育の成果をより大きくするために、カンファレンス室、心理アセスメント室、集団療法室など施設の整備・充実を図りました。

大学院の一貫教育
本学が社会的要請に応え、平成十二年度(全国にきき)に開設した大学院臨床心理学研究科は、初年度から多数の志願者が訪れ、現在、一期生が「このころの専門家」を目指して演習・実習に取り組んでいます。

新たに開設した臨床心理学科のカリキュラムは、この大学院のカリキュラムと密接に連動するようプログラムを組んでおり、将来、高度専門職業人として臨床心理士の資格取得をめざす学生に対して学部と大学院の一貫教育が可能となるよう配慮しています。

人文学部 奥田統己助教

金田一京助博士記念賞を受賞

このほど第二十八回金田一京助博士記念賞を受賞しました。金田一京助博士(一八八二年〜一九七一年)は、知里真志保博士(一九〇九年〜一九六一年)と双璧を成したアイヌ言語、伝承文学研究の大家です。金田一賞は日本及び周辺諸民族の言語と関連文化の若手研究者(応募論文発表時の年齢が満四十六歳未満)の優れた業績に対し、国籍を問わず贈られる栄誉ある賞です。なお、贈賞式は昨年十二月三日(日)東京で行われ、奥田統己助教には賞状、記念品と副賞五十万円が贈られました。

公開講座

商学部公開講座 [実務家リレー講義]
「北海道現象～「試される大地」の成長企業～」



今年度の商学部「実務家リレー講義」は、「北海道現象～「試される大地」の成長企業～」のテーマのもと実施されました。「北海道現象」とは、今日の長引く不況下で、小売業を中心に一部企業への売り上げの集中と、それに伴う企業の

急速な成長が道内で起こっていることを言います。第一回は、この言葉の名付け親であるメルリンチ証券のシニアアナリストの鈴木孝之氏から「北海道現象」について学びました。日本を代表する著名なアナリストというだけに、会場は立ち見が出る盛況となりました。第二回は、北海道現象企業として代表的なラルズの横山清社長より食品小売業界の現状、業界再編の環境下でのラルズのビジョンとミッションについて学びました。

第1回 10/21	業界を動かし世界を目指せ 「北海道現象」企業!! 一飛躍の条件 メルリンチ証券 ファーストヴァイスプレジデント 鈴木 孝之氏
第2回 11/4	好況は自分の手でつくる 株式会社ラルズ 代表取締役社長 横山 清氏
第3回 11/11	株式公開後の成長戦略について 株式会社アインファーマシーズ 代表取締役社長 大谷 喜一氏
第4回 11/18	私の実践してきた起業家精神 株式会社アミノアップ化学 代表取締役社長 小砂 憲一氏
第5回 11/25	試される時代の中で 北海道総合企画部長 磯田 憲一氏
第6回 12/2	創業の精神＝ロマンとビジョン 株式会社ニトリ 代表取締役社長 似鳥 昭雄氏

第三回は、近年注目されているアインファーマシーズ、第四回は、世界的な規模で経営を展開しているアミノアップ化学という道内の代表的な企業の経営者から、成長戦略や企業家精神について学びました。第五回は、「試される大地」のキャッチフレーズのもと北海道再生のキャンペーンを展開している道庁総合企画部長から、「試される時代」の

不況期における経営戦略について熱弁される横山氏

熱心に聞き入る聴講者(本学学生および一般来場者三五〇名)

四大学連携まちづくり市民大学 「ふるさと江別塾」 開講される



江別市内の四大学と江別市教育委員会が協力し、「江別学をめぐって」をテーマに、江別を創ろう」をテーマに、昨年十一月四日から各大学を会場に土曜日四回連続の公開講座が開講され、江別市民百三十三名が受講しました。

第1回 11月4日(土)	①「音楽とまちづくり」 ②「生涯スポーツ社会への道」	北海道浅井学園大学
第2回 11月11日(土)	「北海道の先史文化と江別」	札幌学院大学
第3回 11月18日(土)	①「地域づくりと住民自治」 ②「野幌森林公園の自然」	酪農学園大学
第4回 11月25日(土)	①「日本の電気通信の歴史」 ②「IT社会の光と陰」	北海道情報大学

江別市教育委員会生涯学習課の呼び掛けに四大学が積極的に応じ、「市内の四大学が持つ知を生かし、市民の様々な学習要求に応える。②市民が地域創造のための問題意識と知識を獲得し、まちづくりに主体的に参画していくための学習の場とする。③四大学を軸に全学的な生涯学習ネットワーク化を推進する。」ことを目的に今年度初めて開講されました。

本学は、第二回目として十一月十一日に鶴丸俊明人文学

部助教が「北海道の先史文化と江別」をテーマに、江別近辺での古代文化について講義を行ないました。直前に考古学会を揺るがす事件が起こったこともあり、当日はこの問題に関心を持つ多くの市民が参加しました。「ふるさと江別塾」は来年度も予定されており、三月十七日(土)午後一時(卒業生は十二時三十分)まで式場にて開講されます。

平成十二年度の大学院法学研究科並びに商学部第一部・経済学部・人文学部・法学部・社会情報学部及び商学部第一部の学位記授与式・卒業式が、三月十七日(土)午後一時(卒業生は十二時三十分)まで式場にて開講されます。

当日は、授与式終了後、式場にて卒業生に「学位記」を授与します。卒業証明書等は卒業発表後、期限内に申し込んだ卒業生に限り、当日式場ロビーにて交付されます。

平成12年度 学位記授与式 3月17日(土) 厚生年金会館で

予定通り午後五時にソウルに到着すると、東国大学校国際交流委員長金英敏教授・国際部職員元忠喜氏のほか本学で受け入れた交換留学生二名の出迎えを受け、東国大学校の大型バスでソウル市内の宿泊先のホテルまで送迎を受け、再会を祝しながら焼肉に舌鼓を打ちました。翌日は午前十時に総長室を学生代表二名が訪問し、総長宋錫球(哲

学博士)氏と親しく懇談の時



相互の友好を深め東国大学校校舎前にて

今度の東国大学校との学生交流では、主に英語を駆使して相互理解に努めたが、参加学生の間では相互の言語と文化・歴史に対する関心は高まり、今後はお互いの母語を学習することを確認できたことも貴重な成果の一つでした。

平成十二年十一月二十七日(日)から十二日(日)にかけて、五学部を代表する十名と人文部教員一名、職員一名が、本学の協定校である東国大学校を訪問し、次のような学生同士の交流プログラムやホームステイを通して、相互の理解と友好を深めてきました。

間を持ちました。宋総長からは本交流プログラムへの期待が表明され、来札の際の思い出話に花が咲きました。オリエンテーションに続いて、午後からは日本語研究所長孔魯明教授による講演会に参加しました。「二十一世紀の韓日関係の展望」と題した講演は格調溢れる日本語で行われ、前外務大臣である孔魯明教授は、政治、経済、文化の面で韓日の関係は一層緊密なものとなることを明言されました。

この「ふるさと江別塾」は、江別市教育委員会生涯学習課の呼び掛けに四大学が積極的に応じ、「市内の四大学が持つ知を生かし、市民の様々な学習要求に応える。②市民が地域創造のための問題意識と知識を獲得し、まちづくりに主体的に参画していくための学習の場とする。③四大学を軸に全学的な生涯学習ネットワーク化を推進する。」ことを目的に今年度初めて開講されました。

互いの住所やメールアドレスを交換し、楽しい交流の機会となりました。交流三日目には本学側による講演会が七十名以上の学生を集めて開催されました。金英敏教授による司会で始まり、宮町が北海道の紹介と最近の現象(よきこいソラン)の発展、A・H・Dの設立、コンサドーレの活躍等について講演を行い、転換期に立つ北海道を紹介しました。続いて、本学学生一人一人によるプレゼンテーションが始まり、学生たちが韓国語で自己紹介すると韓国学生からは驚きの歓声が沸き起こり、二人の学生が韓国語で数分間話すと関心はますます高まりました。最後に全員が一列に並んで挨拶すると大きな拍手が湧き上がりました。

交流最終日には韓国の学生と一緒に地下鉄を使ってソウル市内のロッテワールドに出向き、様々な乗り物や買い物を楽しむました。夕方、市内のレストランで東国大学校主催の送別会が開催され、日韓の学生一人一人が感謝の言葉を述べお互いの友好を確認しました。

韓国東国大学校を 学生十名が訪問 二十一世紀への期待

平成十二年十月二十六日に開催された学校法人札幌学院大学第三七回理事会において、平成十三年度入学生の学費については改定を見送ることに決定しました。

平成13年度 新入学生学費 二年連続据え置き

平成十二年十月二十六日に開催された学校法人札幌学院大学第三七回理事会において、平成十三年度入学生の学費については改定を見送ることに決定しました。

①本学の平成十三年度予算編成作業を行うなかで、事業の洗い直しと経費の削減に徹底的に取り組み、新たな教育研究事業を出来るだけ吸収することを追求すること

平成13年度入学生の学費 (単位円)

(1) 大学院法学研究科・臨床心理学研究科	平成13年度	平成14年度	平成15年度
入学金	200	-	-
授業料	834	874	902

(2) 商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入学金	200	-	-	-
授業料	834	874	902	922

(3) 社会情報学部	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入学金	200	-	-	-
授業料	1,037	1,073	1,100	1,110

(4) 商学部第二部	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入学金	100	-	-	-
授業料	469	489	503	513

※表にない年度以降の授業料は、社会情報学部ならびに商学部第二部は毎年度1万円、それ以外は毎年度2万円ずつの値上げとなる。

体育系クラブ 主な活躍の軌跡

- 体育会特別クラブ
 - 馬術部 (大城 梢)
 - 第35回北海道春季馬術大会 (6月)
 - 一般馬場馬術科目第3課目 優勝
 - アジア大会記念団体課目・馬場馬術競技 優勝
 - 第25回北海道馬術大会 (7月)
 - アジア大会記念団体馬場馬術課目 優勝
 - リージュ (戸城 正貴)
 - 1999Jrワールドカップ (1月) 30位
 - 全日本学生選手権 優勝
 - フィギュアスケート (高木 正志)
 - 第26回東日本フィギュアスケート選手権大会 (11月)
 - シニア男子 第3位
 - スキー部
 - 第7回全日本学生アルペンスプリング大会 (3月)
 - 男子回転 SAT M1 20位 猪野 淳 (3年)
 - 男子大回転 SAT M1 13位 猪野 淳 (3年)
 - M2 28位 沼田 一真 (3年)
 - 第55回北海道スキー選手権 (スピード系) 鈴木 忍 (3年) 41位
 - ウィンターフォーゲル部
 - 喜茂別岳 (1177m) 山スキー使用による往復登山 (4月)
 - 船谷 (4年)・市村 (3年)・倉賀野 (2年) 全員登頂
 - 夕張岳往復登山 夕張コース (冷水コース使用)
 - 石原平にて往復
 - 無意根山 (元山コース)
 - アタック装備による往復登山 登頂成功
 - 大雪山系お鉢一周 (6月) 登頂
 - 沢登りによる横断登山 (7月) 札幌岳 (1293m) 登頂
 - 大雪山系トラウシ山・化雲岳 縦走登山 登頂
 - 愛別岳アタック装備による往復登山 登頂
 - 南暑寒岳・暑寒別岳 縦走登山 登頂
 - 神威岳 (11月) 展望台より下山
 - バレーボール部
 - 第33回大滝杯北海道大学男女バレーボールリーグ春季大会 (5月) 男子2部 5位
 - 第19回東日本大学バレーボール選手権大会 (6月)
 - 第47回北海道地区体育大会 (7月)
 - 決勝トーナメント出場 ベスト8入り (25チーム中)
 - 第27回原崎杯北海道大学男女バレーボールリーグ秋季大会 (10月) 5部リーグB 優勝
 - 第17回北海道大学男女バレーボールリーグ道央地区大会 (11月)
 - 3部 2位 入替戦の結果 2部昇格
 - 第27回北海道大学男女バレーボールリーグ秋季大会 (10月) 3部 3位 (5チーム中)
 - バスケットボール部
 - 札幌地区選手権大会優勝
 - 第47回北海道地区大学体育大会 (7月) 優勝
 - 第50回春季選手権大会 (6月) ベスト4
 - *宮腰 昌宏 (3年) 選手は北海道選抜に選ばれました。
 - 弓道部
 - 北海道内大学弓道1部戦 (6月)
 - 男子1部戦 札幌学院大学A 100射 64中 3位
 - 女子対抗戦 札幌学院大学A 60射 38中 1位
 - 個人優勝 渡辺 香澄 (2年) 20射16中
- 第53回北海道弓道大会 (5月)
 - 個人戦 男子の部 3位 尾崎 孝直 (2年)
 - 女子の部 優勝 西垣 江里 (3年)
- 第47回全道学生弓道選手権大会 (6月) 男子優勝/女子3位
- 全道学生弓道争覇戦 (10月)
 - 準優勝/個人4位 尾崎 孝直 (2年)
 - 全道学生弓道争覇戦 (10月) 団体優勝
 - 個人優勝 粉川 朋子 (3年) (48/60中)
 - 第32回全道学生弓道新人戦 (11月) 団体戦 優勝 本学
- 洋弓部
 - 北海道学生アーチェリー (4月) 男子団体優勝
 - 第29回男子王座決定戦 (4月)
 - 男子個人 優勝 山田 裕哉 (2年)
 - 2位 南 亮平 (4年)
 - 3位 大前 貴幸 (3年)
 - 第23回女子王座決定戦 (5月)
 - 女子個人優勝 中村 早紀 (1年)
 - 第11回全日本学生アーチェリー東日本大会 (5月)
 - 9位 中村 早紀 (1年)
 - 全日本学生アーチェリー第39回男子王座決定戦 (6月) 本学7位
- 応援指導部
 - 全日本選抜チアリーディング選手権大会 (5月)
 - 58チーム中 規定演技35位
 - 自由演技30位 総合 33位
 - 第11回北海道チアリーディング選手権大会 (8月)
 - 自由演技 10チーム中 2位 (準優勝)
 - 規定演技 10チーム中 2位 (準優勝)
 - チアリーディング日本選手権大会 (8月)
 - 自由演技 57チーム中 20位
 - 規定演技 57チーム中 15位
- ソフトテニス部
 - 春季全道学生ソフトテニス大会 (5月)
 - 大学対抗 2位/選手権 1位 高橋 (3年)・網淵 (1年)
 - 第32回全道学生ソフトテニス選手権大会 (6月)
 - 大学対抗 優勝 札幌学院大学Bチーム
 - 選手権 優勝 高橋 (3年)・網淵 (1年)
 - 全日本学生大会 (8月) 団体戦 2回戦敗退
 - 個人戦 高橋 (3年)・網淵 (1年) ベスト16
 - 秋季全道学生ソフトテニス大会 (8月)
 - 大学対抗リーグ戦 優勝/個人選手権 優勝 高橋 (3年)・網淵 (1年)
- 陸上競技部
 - 第53回読売北海道 小樽～札幌間駅伝競技大会 (5月)
 - 一般・高校の部 5位 2'14'53
 - 女子 4位 1'19'45
 - 北海道学生対抗選手権大会 (6月)
 - 男子総合優勝 1位 176点
 - 200M 1位 樋口 敦司 (3年) 22'02
 - 5000MW 1位 熊谷 雄士 (4年) 25'40'08
 - 4×100MR 1位 (大前 (3年)・樋口 (3年)・中村 (3年)・作間 (2年))
 - 42'00 (大会新) [予選41'91大会新]
 - 十種競技 1位 谷本 幸治 (2年) 6013点 (大会新)
 - 第12回北海道大学駅伝対抗選手権大会 (9月) 優勝 5'19'41
 - 第32回全日本大学駅伝対校選手権大会 (11月) 24位 5'58'49

S F 研究会

「新世紀に無限の冒険心を」

SF研究会は、本学文化会所属の正会員サークルにおいて最も新しいサークルです。「SF」とは、サイエンスフィクションの略です。日本語に訳すと、空想科学となります。一般的には小説や映画として見られるものです。SFは、日本ではあまりポピュラーなジャンルとは言えません。そのため、わがサークルの会員数も、現在七名と多いとは言えない状況です。しかし、会としての活動は活発に行なっているつもりです。特に昨年は念願の部室を手に入れることができ、定期的な活動の場を確保することができました。また、機関紙を予定が遅れつつも発行することができました。

北海道・東北地区においてSFを扱っているサークルはごくわずかです。そのため、直接的な他大学との交流は無理な状況です。その代わりとして、インターネットによる交流を図っています。このように、わがサークルは弱小ながらもできる範囲内において努力しております。また、わがサークルには、堅苦しいイメージや暗いイメージがあるかもしれませんが、しかし、実際にはそんなことはありません。例えば、この文章のタイトルはSF作品の題名の一部や宇宙船名を三つ合わせた遊び心の産物です。ただし、大学のサークルとして、単なる仲良しグループと化してはいけないと考えております。今後も目的意識を



劇団SON'S SUNN

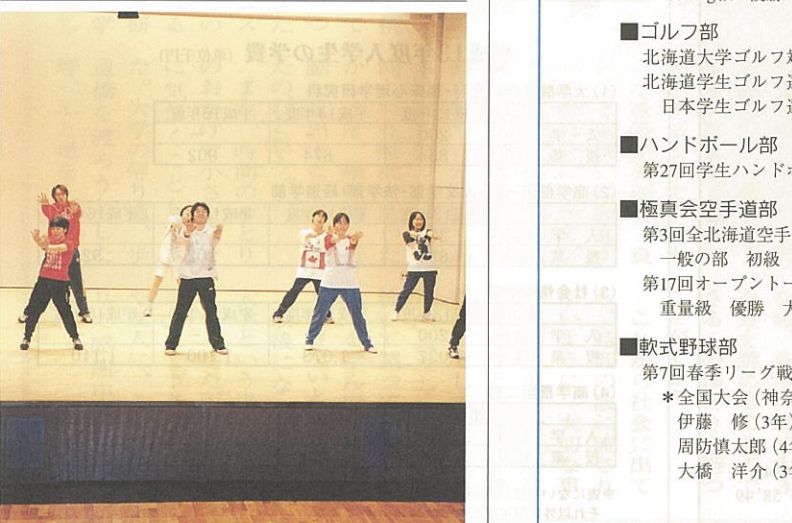
伝えたい演劇の素晴らしさ

おはようございます！ 二年、S.G.U.ホールでの定期公演を軸にお芝居をやっている「劇団SON'S SUNN」(サンズ・サン)です。僕達のサークルは文化系に属しています。体力も必要なので毎日部員全員で筋力トレーニングを行います。発声を正しくするための腹式呼吸や人前で体たけを使ってアピールするためには、精神鍛錬などそれとなくも普通に生活していれば全く必要としない、非日常的なものばかりです。そのためでしょうか、入部してくる人は皆個性的で「風変わった人たちばかりです。演劇ってちょっと恥ずかしいと言った声をよく聞きますし、友人に「一年一度でも演劇って観る？」と聞いても演劇に振る人はほとんどいません。北海道で演劇はまだマイナーの域に留まっています。しかし、水曜どうでしょうなどのテレビ番組に

出演している大泉洋さんのブログをきっかけに演劇の波が広がっているのは確かです。演劇はミュージシャンのライブと似ていると思います。映画と違って生であるということが大きな理由です。この生の臨場感、お客様の反応がダイレクトに返ってくるというドキドキは味わって忘れないと思います。ここで語り尽くすことはできませんが、その素晴らしさを次の第十回

公演で少しでも伝えられたらなと思っています。演劇の素晴らしさを伝えるために、僕達は今これからも頑張っていきたいと思っています。

劇団SON'S SUNN代表 法学部二年 加藤 衆也



我々陸上ホッケー部は創部十六年目を迎えました。創部以来確実に力をつけ、近年の成績は目覚しく向上し、昨年の春季大会ではライバル校である東京農業大学オホーツクを破り、全日本学生王座決定戦の東日本第二代表決定戦まで進みました。その時の結果が自信に結びつき、その他の道内の大会において、優秀な成績を収め、昨年九月に網走市で行われた全日本学生ホッケー選手権大会において、苦しい北海道予選を勝ち抜き選手が一丸となって本大会の出場権を得ることができました。我々の最終的な目標が「全道優勝」(全国ベスト4)である以上、練習内容も個人の技術を伸ばしていくのではな

く、戦術面、体力面、組織力を重要視して練習に取り組んできました。十一月に東京・埼玉で行われた全日本学生ホッケー選手権大会において、一回戦大阪代表の摂南大学とあたり、摂南大学は関西の中でも強豪であるため相手にとって不足はありませんでした。前半開始から相手に試合の主導権を握られ、先取点を奪われ、後半は我々が俄然優勢に試合を進め同点に追いつき、相手とはスピード・パワーともに互角でした。同点のまま試合が終了し、ペナルティーストローキックの末惜しくも破れてしまいました。一回戦敗退という悔しい思いをしました。全国というものの壁の厚さを思い知らされ

最後に大会出場にあたり、学校関係者、体育会の皆様には多大な御支援をいただいたこと、この場をお借りしてお礼を申し上げます。また、今後ともよろしくお願ひします。 陸上ホッケー部 吉田 敬一 商学部三年

陸上ホッケー部

選手一丸で 全国へ コマを進める



体育系クラブ 主な活躍の軌跡

- 自転車**
 - 北海道選手権MTBクロスカントリーレースベントスロン 田中 宏輝(2年) スポーツクラス 7位
 - 第40回東日本学生自転車競技大会(5月) 木賊(3年) 1kmTT 5位
 - 第19回道新杯自転車ロードレース大会(5月) S1クラス 永平(1年) 6位・木賊(3年) 7位 S2クラス 園(2年) 1位
 - 第35回北海道自転車競技選手権大会(7月) 木賊(3年) 1kmTT 5位 ケイリン 2位 永平(1年) ポイントレース 4位 ケイリン 1位
- 陸上ホッケー部**
 - 男子第31回・女子第7回北海道学生ホッケー春季大会兼第19回全日本学生王座決定戦・東日本第2代表北海道予選会(5月) リーグ戦 準優勝 2勝1敗
 - 岩田杯(9月) 優勝
 - 北海道ホッケー選手権大会全日本学生ホッケー選手権大会北海道予選会(9月) 準優勝
- パワーリフティング部**
 - 第47回北海道春季学生パワーリフティング選手権(5月) -67.5kg級 優勝 鈴木 唯正(3年)・2位 河村 友洋(3年) -90kg級 優勝 長谷川悦凡(3年) -100kg級 優勝 池田 友和(3年)
 - 第27回全日本学生パワーリフティング選手権大会(5月) -100kg級 池田 友和(3年) 4位 -90kg級 長谷川悦凡(3年) 6位
 - 第47回北海道学生春季パワーリフティング選手権 -100kg級 優勝 池田 友和(3年) -90kg級 優勝 長谷川悦凡(3年) -67.5kg級 優勝 鈴木 唯正(3年)
 - 第47回北海道秋季パワーリフティング選手権(12月) +75kg級 優勝 池田 友和(3年) -67.5kg級 優勝 河村 友洋(3年)
- ゴルフ部**
 - 北海道大学ゴルフ対抗戦Bブロック(6月) 2位
 - 北海道学生ゴルフ選手権(6月) 優勝 古賀 和幸(2年)
 - 日本学生ゴルフ選手権・札幌オープン出場権獲得
- ハンドボール部**
 - 第27回学生ハンドボール春季リーグ戦(5月) 3勝2敗 2部2位
- 極真会空手道部**
 - 第3回全北海道空手道交流試合 一般の部 初級 優勝 高橋 俊寛(2年)/準優勝 神橋 喬(2年)
 - 第17回オープントーナメント学生空手道選手権大会(11月) 重量級 優勝 大田 篤志(2年)
- 軟式野球部**
 - 第7回春季リーグ戦大会(6月) 優勝
 - *全国大会(神奈川)に出場。なお、伊藤 修(3年) 選手は最優秀選手賞・ベストナイン(投手) 周防慎太郎(4年) 選手は敢闘賞・ベストナイン(遊撃手) 大橋 洋介(3年) 選手はベストナイン(右翼)
- 第23回全日本大学野球軟式野球選手権大会**
 - (神奈川・8月) 2回戦敗退
 - 第7回秋季リーグ戦大会(10月) 優勝 4勝1敗
 - *全国大会(日光)に出場
 - なお、伊藤 修(3年) 選手はベストナイン(投手) 大橋 洋介(3年) 選手は最優秀殊勲賞
 - 第21回東日本軟式野球選手権大会(11月) 2回戦敗退
- 男子硬式庭球部**
 - 北海道学生テニス春季大会(全道大会)(5月) ダブルス 優勝 永長(4年)・長峰(4年) 準優勝 長谷川(3年)・岡沼(4年)
- 羽球部**
 - 春季リーグ(4月) 1部リーグ
 - 2勝2敗2位セット数差によりインカレ出場
- 日本拳法部**
 - 日本拳法北海道選手権大会(10月) 形の部 男子 優勝 佐々木良輔(2年) 女子 優勝 白川 基世(2年)
 - 全日本拳法選手権大会(11月) 形競技 女子の部 準優勝 金子 由香(3年)
- ラクロス同好会**
 - 春季トーナメント(6月) 第4位
 - 第6回北海道ラクロス秋季リーグ(9月) 4勝2敗
- ラグビー部**
 - 北海道選手権大会(7月) 1回戦 本学 3-37 中標津ラガー 入れ替え戦 本学 5-38 北海学園大学
- トライアスロン同好会**
 - 北海道新聞杯自転車ロードレース(5月) S2クラス 江口 靖明(3年) 5位入賞
 - 第14回苫小牧民報杯ハスカップトライアスロン全道大会 兼学生選手権予選(6月) 学生の部 優勝 江口 靖明(3年) 総合8位 入賞 3時間5分20秒
 - 第14回日本海オロンライントライアスロン国際大会券第3回北海道選手権 安達 知秀(4年) 62位・久村 修一(4年) 167位 完走325人
- サッカー部**
 - 第19回北海道学生サッカーリーグ(9月) 準優勝(6勝1敗)
 - 第19回北海道学生サッカーリーグ(11月) 1部参入決定戦 本学 1-0 北海学園大学 *1部昇格決定
- 空手道同好会**
 - 第33回北海道学生空手道選手権大会兼全国大会予選(北海道予選)(9月) 準優勝 全国大会出場権獲得
 - 第44回全日本大学空手道選手権大会 1回戦 本学 0-5 琉球大学

※2000年11月30日現在、各クラブより提出された資料をもとに掲載しています。